

□主な内容

【EST 交通環境大賞は「EST 脱炭素交通大賞」へリニューアルします！】

運輸・交通分野の脱炭素化を推し進めるため、これまで第 15 回まで続けてきた「EST 交通環境大賞」を発展的に継承し、「EST 脱炭素交通大賞」に名称変更します。

<https://www.estfukyu.jp/renewal.html>

【第 50 回 EST 脱炭素交通創発セミナーを開催しました！】

2 月 16 日に「交通分野の脱炭素化のこれまでとこれから」と題したセミナーを東京・浜松町でハイブリッド開催し、合計 200 名超にご参加いただきました。講演資料を公開しました。

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu81.html>

□目次

1. ニュース／トピックス

- EST交通環境大賞は「EST脱炭素交通大賞」へリニューアルします！【EST普及推進委員会、エコモ財団】
- 「交通空白」解消など「リ・デザイン」の全面展開に向けMaaSの取組みを支援します！～令和8年度「観光MaaS推進事業」の公募開始について～【国土交通省】
- 「鉄道脱炭素施設等実装調査」を実施する鉄軌道事業者等を募集します！～鉄軌道事業者等によるカーボンニュートラル実現に向けた取組みを促進～【国土交通省】
- 第8回日本オープンイノベーション大賞「国土交通大臣賞」を授与しました～「共同輸送データベースの普及による持続可能な物流～フィジカルインターネットの実現」が受賞～【国土交通省】
- 「エコレールマーク」の認定について【国土交通省】
- 「はじめよう！地域脱炭素セミナー(全8回)」アーカイブ動画公開【環境省】
- 「エコドライブ10のすすめ」啓発コンテンツを公開～エコドライブの実践を「ゆっくり解説」「雑学動画」等を通じてより身近に～【日本自動車工業会】
- 公共交通シンポジウムの動画を公開しました！【近畿運輸局】
- 「電車・バスで行こう！」キャンペーン第4弾【富山県】
- stera transit 唐津市 MaaS 推進事業 実証実験を開始【唐津市、昭和自動車、漁業組合、三井住友カード、佐賀銀行、ニモカ、ジェーシービー、西鉄エム・テック、小田原機器、QUADRAC】

- stera transit 富良野 MaaS 推進事業 実証実験を開始！【富良野市、ふらのバス、富良野タクシー、ふらの観光協会、三井住友カード、ジェーシービー、QUADRAC、北海道アトラス、小田原機器】
- SRTの運行開始について【名古屋市、名鉄バス】
- 自動運転車両の実証運行を開始【西都市】
- 「都市型スノーリゾート」の課題解決へ【札幌市、NearMe】
- AI を活用したオンデマンド交通「よぶきた八幡平」の実証運行を開始【八幡平市、岩手県北バス】
- 保健福祉 MaaS の実証運行が開始【塩谷町、MONET】
- 日本版ライドシェア トライアル運行の開始について【鹿児島交通、種子島・屋久島交通】
- 自動運転実験車両の開発で協業開始【newmo、マクニカ】
- モビリティ実証実験を開始 ～スキーシーズンに集中する観光需要を支える新たな二次交通モデルを構築～【NearMe、西武グループ】
- 空港におけるEVトラック活用検証等のパートナーシップを締結【ANA、いすゞ】
- 令和 7 年度国土交通省実証事業における初の公道実証走行を開始【オリックス自動車、センコー、ロボトラック】
- 水素貨物自動車と水素充填ステーションの普及を支援【ドイツBMV】

## 2. イベント情報

- 交通運輸技術フォーラム【2026/3/3】
- 脱炭素経営フォーラム(2025 年度)【2026/3/5】
- 車両移動機の操縦体験イベント【2026/3/7、3/8】
- 公共交通オープンデータ最前線 2026【2026/3/7】
- 第 4 回エコモビリティ勉強会「欧州における地域交通」【2026/3/10】

## 3. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

---

---

## 1. ニュース／トピックス

●EST 交通環境大賞は「EST 脱炭素交通大賞」へリニューアルします！【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

EST 普及推進委員会とエコモ財団は、2月16日に開催した第50回 EST 脱炭素交通創発セミナー「交通分野の脱炭素化のこれまでとこれから」において、これまで第15回まで続けてきた「EST 交通環境大賞」を振り返るとともに、2026年度から「EST 脱炭素交通大賞」へリニューアルすることを発表しました。

<https://www.estfukyu.jp/renewal.html>

●「交通空白」解消など「リ・デザイン」の全面展開に向けMaaSの取組みを支援します！ ～令和8年度「観光MaaS推進事業」の公募開始について～【国土交通省】

国土交通省は、「交通空白」解消など「リ・デザイン」の全面展開を進めるため、全国的なMaaSの推進を目的として、令和8年度「観光MaaS推進事業」の公募を開始しました。募集期間は3月6日までです。

多種多様なモビリティサービスを「一つのサービス」として利用可能とするMaaSは、地域交通の利便性を向上させるだけでなく、他分野との連携による外出機会自体の創出や、モード横断的な利用データ等の取得を可能にするなど、「交通空白」解消等の「リ・デザイン」の全面展開を支えるとともに、観光地へのアクセシビリティを改善し、インバウンド含む観光客の地方誘客や「観光の足」確保につながる重要な施策です。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12\\_hh\\_000498.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000498.html)

●「鉄道脱炭素施設等実装調査」を実施する鉄軌道事業者等を募集します！ ～鉄軌道事業者等によるカーボンニュートラル実現に向けた取組みを促進～【国土交通省】

国土交通省は、鉄道分野におけるカーボンニュートラル実現に向けて、「鉄道脱炭素施設等実装調査」を実施する事業者の募集を開始しました。募集期間は3月6日までです。

本事業は、2022年の「鉄道分野におけるカーボンニュートラル加速化検討会」における中間とりまとめを踏まえ、「鉄道脱炭素施設等実装調査」に対する補助制度として鉄軌道事業者等によるカーボンニュートラル実現に向けた取組みを推進するために創設されました。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo07\\_hh\\_000317.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo07_hh_000317.html)

●第8回日本オープンイノベーション大賞「国土交通大臣賞」を授与しました ～「共同輸送データベースの普及による持続可能な物流～フィジカルインターネットの実現」が受賞～【国土交通省】

国土交通省は、日本オープンイノベーション大賞のうち、国土交通分野における科学技術の振興の視点から特に顕著な取組み等が認められる個人又は団体に授与する「国土交通

大臣賞」について、「共同輸送データベースの普及による持続可能な物流」を提供する（一社）運輸デジタルビジネス協議会等のチームに対し授与しました。

日本オープンイノベーション大賞は、我が国の未来を担うイノベーション創出の加速を目指し、産学連携、大企業とベンチャー企業との連携、自治体と企業との連携など、組織の壁を越えて新しい取組みに挑戦する「オープンイノベーション」の模範的なプロジェクトを政府が表彰するものです。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo17\\_hh\\_000206.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo17_hh_000206.html)

●「エコレールマーク」の認定について【国土交通省】

国土交通省は、第 50 回「エコレールマーク運営・審査委員会」において、エコレールマークの協賛企業として新たに 7 社の認定を決定しました。

エコレールマーク制度は、地球環境に優しい貨物鉄道輸送を一定以上利用している商品又は企業に対して、「エコレールマーク」の認定を行い、マークの表示によって消費者に判断基準を提供する制度です。「エコレールマーク」の表示された商品等を通じて、流通過程において企業が地球環境問題に貢献していることを消費者に意識してもらい、企業の鉄道貨物輸送へのモーダルシフトを促進することを目的としています。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01\\_hh\\_000245.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01_hh_000245.html)

●「はじめよう！地域脱炭素セミナー（全8回）」アーカイブ動画公開【環境省】

環境省では 2025 年度、地域経済活性化・地域課題解決につながる「地域脱炭素事業」に取り組むための基本的な知識や事例、実践の際に様々な壁を乗り越える方法等を学ぶことができるオンライン基礎講座を開催し、各回のアーカイブ動画を公開しました。

脱炭素事業に関わる上で必要となる基本的な知識や事例等を学んでいただくことにより、地域再エネ事業に一步踏み出すことを後押しする内容となっておりますので是非ご覧ください！

<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/seminar/>

●「エコドライブ 10 のすすめ」啓発コンテンツを公開 ～エコドライブの実践を「ゆっくり解説」「雑学動画」等を通じてより身近に～【日本自動車工業会】

（一社）日本自動車工業会は、「エコドライブ 10 のすすめ」の普及啓発を目的として、動画シリーズや特設ページ等のコンテンツを公開、インターネットや高速道路のデジタルサイネージを活用した啓発活動を開始しました。

「エコドライブ 10 のすすめ」は環境への配慮や交通安全、省エネルギーの観点から環境省をはじめとする関係省庁や会員会社とともに推進している取組みです。今回の取組みを通じ、より広くその価値を届け、日常の運転行動の改善につなげることを目的としています。

[https://www.jama.or.jp/release/news\\_release/2026/3476/](https://www.jama.or.jp/release/news_release/2026/3476/)

●公共交通シンポジウムの動画を公開しました！【近畿運輸局】

近畿運輸局は、1月16日に開催した公共交通シンポジウム「運転者不足時代の公共交通を考える ～自治体×事業者×広域連携の可能性～」の動画を公開しました。

[https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/koutuu\\_seisaku/seminar/seminar/r7\\_seminar.html](https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/koutuu_seisaku/seminar/seminar/r7_seminar.html)

●「電車・バスで行こう！」キャンペーン第4弾【富山県】

富山県は、公共交通の便利さや快適さを感じることで県民に公共交通を中心としたライフスタイルを広めることを目的として「電車・バスで行こう！」キャンペーン(第4弾)を開始しました。開催期間は3月15日までです。

キャンペーン期間中は、県内の対象路線にて、平日90分間、乗り継ぎ・乗車自由な乗車券2枚を300円で購入することができます。購入はスマートフォンアプリ「my route」においてキャッシュレス決済により行い、アプリ画面を用いて「とやまの新酒を飲み歩き 2026(参加店17店舗のスタンプラリー企画)」や、富山県美術館をはじめとした県内文化施設との連携企画にも参加できます。

<https://www.pref.toyama.jp/8000/202602kippu.html>

●stera transit 唐津市 MaaS 推進事業 実証実験を開始【唐津市、昭和自動車、佐賀玄海漁業組合、三井住友カード、佐賀銀行、ニモカ、JCB、西鉄エム・テック、小田原機器、QUADRAC】

唐津市、昭和自動車株式会社、佐賀玄海漁業協同組合、三井住友カード株式会社、株式会社佐賀銀行、株式会社ニモカ、株式会社ジェーシービー、西鉄エム・テック株式会社、株式会社小田原機器、QUADRAC 株式会社は、国土交通省の令和7年度「日本版 MaaS 推進・支援事業」の採択を受けた、stera transit 唐津市 MaaS 推進事業における実証実験を開始しました。

本実証では、①三井住友カードの公共交通機関向けソリューション「stera transit」を活用した、昭和自動車が運行する都市間高速バス「からつ号」および漁業組合が運航する高島航路「ドリームラインたかしま」へのクレジットカード等のタッチ決済による乗車サービスの導入、②総合交通アプリ「Pass Case」での「からつ号 × ドリームラインたかしま 2日間乗り放題券」販売(販売期間3月12日まで)、③移動・消費データの分析による地域交通の活性化に向けた取組みを実施します。

<https://www.smbc-card.com/company/news/25/news0002116.pdf>

●stera transit 富良野 MaaS 推進事業 実証実験を開始！【富良野市、ふらのバス、富良野タクシー、ふらの観光協会、三井住友カード、JCB、QUADRAC、北海道アトラス、小田原機器】

富良野市、ふらのバス株式会社、株式会社富良野タクシー、(一社)ふらの観光協会、三井住友カード株式会社、株式会社ジェーシービー、QUADRAC 株式会社、北海道アトラス

株式会社、株式会社小田原機器は、ふらのバスが運営する路線バス全線にて、三井住友カードの公共交通機関向けソリューション「stera transit」を活用したクレジットカード等のタッチ決済による乗車サービスを開始しました。また同時に国土交通省の令和 7 年度「日本版 MaaS 推進・支援事業」の採択を受けた、stera transit 富良野 MaaS 推進事業における実証実験を開始しました。

本実証では、三井住友カードの総合交通アプリ「Pass Case」にて、タクシークーポンや指定の ショップ『菓子司 新谷』の特典を付帯した企画券の販売を行います。また、タッチ決済乗車により得られる移動・消費データを分析し、市民や来訪者による公共交通の利用促進を目指します。

<https://www.furanobus.jp/manage/wp-content/uploads/2026/01/【富良野 MaaS】Transit ニュースリリース 2026.2.pdf>

#### ●SRT の運行開始について【名古屋市、名鉄バス】

名古屋市と名鉄バスは、SRT(Smart Roadway Transit)の名古屋駅ー栄ルート of の運行を開始しました。

SRT は、技術の先進性による快適な乗り心地やスムーズな乗降、洗練されたデザインなどのスマート(Smart)さを備え、路面(Roadway)を走ることでもちの回遊性や賑わいを生み出す、今までにない新しい移動手段(Transit)のことです。SRT により、まちづくりと一体となった路面公共交通システムを提供します。

<https://www.srt.city.nagoya.jp/news/2nGe797i>

#### ●自動運転車両の実証運行を開始【西都市】

西都市は、市内の中心市街地と西都原とを結ぶルートで自動運転車両の実証運行を開始しました。実証期間は 3 月 13 日までです。

本事業は 2024 年度から実施している自動運転 EV バスの実証運行に加え、九州で初めて乗用車タイプの車両を使用して行う実証実験です。

<https://www.city.saito.lg.jp/kurashi/kokyokotsu/ev.html>

#### ●「都市型スノーリゾート」の課題解決へ「シェア乗り」を活用したタクシーの実証運行を開始【札幌市、NearMe】

札幌市と株式会社 NearMe は、「都市型スノーリゾート」の交通課題解決に向けた官民連携事業として、1 台のタクシーを目的地の近い複数名で乗車する「シェア乗り」を活用した NearMe のタクシーの実証運行を開始しました。実証期間はスキー場の営業終了までです。

本実証は、バス事業者の人手不足などを背景に、スキー場を結ぶバスの減便や廃止、配車アプリの利用が難しいエリア、夜間時間帯にタクシーの迎車に応じられない等、市内スキー場への交通アクセスにおける課題解決を目的とした官民連携事業です。

<https://www4.city.sapporo.jp/scg/case/case-048.html>

●AI を活用したオンデマンド交通「よぶきた八幡平」の実証運行を開始【八幡平市、岩手県北バス】

八幡平市と岩手県北自動車株式会社は、利用者の利便性と運行効率性の向上による持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築を目的として、八幡平市松尾地区においてAI を活用したオンデマンド交通「八幡平市予約バス(愛称:よぶきた八幡平)」の実証運行を開始しました。

「よぶきた八幡平」では、利用者の呼び出しに合わせて AI が経路を設定し運行します。また、既存のバス停に加えて、新たにデジタルマップ上に標柱がないバス停を設けることで、自宅や目的地により近い場所からの乗降が可能となります。

[https://www.michinori.co.jp/pdf/20260202\\_PR\\_iwate.pdf](https://www.michinori.co.jp/pdf/20260202_PR_iwate.pdf)

●保健福祉 MaaS の実証運行が開始【塩谷町、MONET】

塩谷町とMONET Technologies 株式会社は、「保健福祉 MaaS 実証運用業務」の実証運行を開始しました。

保健福祉 MaaS は、車内のレイアウトを柔軟に変更して医療や行政サービス、防災、現場事務所などさまざまな用途に活用できる MaaS 向けの架装車両「マルチタスク車両」と、塩谷町の町役場をオンラインで接続して、役場にいる保健師が遠隔で健康相談や栄養相談などを行うサービスです。

[https://www.monet-technologies.com/news/info/20260129\\_01](https://www.monet-technologies.com/news/info/20260129_01)

●日本版ライドシェア トライアル運行を開始【鹿児島交通、種子島・屋久島交通】

いわさきグループの鹿児島交通株式会社および種子島・屋久島交通株式会社は、岩崎産業株式会社のホテルズ部門と連携し、バス会社による日本版ライドシェアの試験運行を種子島、屋久島において開始しました。試験期間は8月5日までです。

本事業はホテルの従業員が運転手となり自家用車運送を行うもので、指宿、種子島、屋久島において、いわさきグループのホテルおよびゴルフ場の利用客を対象に運送依頼を受け付けています。指宿では2月下旬開始予定です。

<https://www.iwasaki-corp.com/post-11845/>

●自動運転実験車両の開発で協業開始【newmo、マクニカ】

newmo 株式会社と株式会社マクニカは、自動運転タクシーの実用化に向けた車両開発で協業を開始しました。

本協業では、マクニカが開発・提供するセンサ／制御技術を活用した自動運転車両を、newmo の自動運転タクシー開発および実証に活用するなど、自動運転タクシーの実運用を見据えた「車両仕様の最適化」「実証環境の整備」「運行データの活用」等を進めます。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000047.000137033.html>

●モビリティ実証実験を開始 ～スキーシーズンに集中する観光需要を支える新たな二次交通モデルを構築～【NearMe】

株式会社 NearMe は、西武グループが所有・運営する新富良野プリンスホテルと連携し、スキーリゾートホテルを起点とした二次交通課題の解決を目的とするモビリティ実証実験を開始しました。実証期間は 3 月 31 日までです。

本実証では、ニアミーが提供する事前予約・配車システムを活用し、利用者の移動目的に応じた 2 つのサービスを提供します。新富良野プリンスホテルを起点に、空港とホテル間をドアツードアで結ぶ貸し切り型送迎サービスと、ホテルからスキー場を結ぶ定期便「北海道パウダースノーシャトル」を運行します。

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000223.000031733.html>

●空港における EV トラック活用検証等のパートナーシップを締結【ANA、いすゞ】

全日本空輸株式会社(ANA)と、いすゞ自動車株式会社(いすゞ)は、2050 年の CO<sub>2</sub> 排出量実質ゼロという共通目標に向け、航空機地上支援機材(GSE)の検証を行うパートナーシップを締結しました。

BEV トラック「エルフ EV」のカーゴトラック(手荷物運搬車)を、2 月 18 日より導入しました。本締結では、空港における EV トラック活用の可能性検証やその他のソリューションの検討をする等、2050 年までに CO<sub>2</sub> 排出量実質ゼロという目標の一助として活用していきます。

<https://www.anahd.co.jp/group/pr/202602/20260218.html>

●令和 7 年度国土交通省実証事業における初の公道実証走行を開始【オリックス自動車、センコー、ロボトラック】

オリックス自動車株式会社、センコー株式会社、株式会社ロボトラックの 3 社で構成される「L4 物流自動運転トレーラー推進協議会」は、セミトレーラー型自動運転トラックを活用した初の公道実証走行を開始しました。

本取り組みは、高速道路上における安全かつ安定的な無人走行技術の確立を主な目的とし、新東名高速道路 新富士 IC から新東名高速道路 浜松 SA スマート IC までの区間において、ロボトラックが技術開発した自動運転セミトレーラーの公道実証走行を実施します。また、発着地として設定する「TSUNAGU STATION」では、中継輸送を想定したトレーラー交換による物流効率化の検証を行います。

[https://www.orix.co.jp/auto/press/pdf/release\\_260209.pdf](https://www.orix.co.jp/auto/press/pdf/release_260209.pdf)

●水素貨物自動車と水素充填ステーションの普及を支援【ドイツ BMW】

ドイツ連邦交通省(BMV)は、国内で水素充填ステーションのネットワークを構築するための支援策を発表しました。

発表された支援策では、総額 2 億 2000 万ユーロを拠出することで最大 40 か所の水素充填ステーションの設置を支援し、最大 400 台の水素貨物自動車の導入を支援します。水素

充填ステーションの設置とそのステーションに関する水素貨物自動車車両の購入を組み合わせた取組みが支援対象となることから、新たに設置されるステーションは初期段階から十分な利用率を確保でき、運送業者や物流企業に対して信頼性のある水素充填ステーションを提供することが可能となります。

<https://www.bmv.de/SharedDocs/DE/Pressemitteilungen/2026/005-schnieder-bmv-foerdert-klimafreundlichen-schwerlastverkehr.html>

---

## 2. イベント情報

### ●交通運輸技術フォーラム

日時:2026年3月3日(火)14:00~17:05

場所:ハイブリッド開催(Tokyo Innovation Base 2階 STAGE+Room +オンライン配信)

主催:国土交通省

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001981687.pdf>

### ●脱炭素経営フォーラム(2025年度)

日時:2026年3月5日(木)13:30~17:20

場所:ハイブリッド開催(大手町三井ホール+オンライン配信)

主催:環境省

[https://www.env.go.jp/press/press\\_02884.html](https://www.env.go.jp/press/press_02884.html)

### ●車両移動機の操縦体験イベント

日時:2026年3月7日(土)、8日(日)

第1回:9:00~12:00

第2回:13:00~16:00 ※各日共通

場所:JR 東日本さいたま車両センター

主催:JR 東日本大宮支社

[https://www.jreast.co.jp/press/2025/omiya/20260212\\_o01.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2025/omiya/20260212_o01.pdf)

### ●公共交通オープンデータ最前線 2026

日時:2026年3月7日(土)10:30~17:30

場所:ハイブリッド開催(東京大学本郷キャンパス 工学部2号館213号大講義室+オンライン配信)

主催:(一社)日本バス情報協会

<https://odd2026.peatix.com>

### ●第4回エコモビリティ勉強会「欧州における地域交通」

日時:2026年3月10日(火)17:00~19:00

場所:ハイブリッド開催(エコモ財団会議室+オンライン配信)

主催:エコモ財団

[https://www.ecomo.or.jp/environment/eco\\_mobility/4th\\_studysession\\_.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/eco_mobility/4th_studysession_.html)

---

### 3. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<https://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

[https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html)

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

[https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm\\_top.html](https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html)

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [magazine@ecommo.or.jp](mailto:magazine@ecommo.or.jp)(担当:中道)

---

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomo](https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo)

EST ポータルサイト: <https://www.estfukyu.jp/>